

令和6年度 在宅医療・介護連携推進事業 事業活動に関するアンケート調査【専門職団体 結果報告】

I.目的

- ・現状の事業活動に対する関係者の満足度及び課題と感じている点、要望する新たな活動等を把握する。
- ・調査結果を今後の事業活動へ適切に反映し、事業の見直しや改善につなげる。
- ・各専門職団体、推進委員、実施主体者双方が事業活動への理解を深め、更なる連携推進を図る。

II.対象者

●各専門職団体

- ・中部地区歯科医師会
- ・中部地区薬剤師会
- ・一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
- ・沖縄県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・一般社団法人 沖縄県介護支援専門員協会
- ・一般社団法人 沖縄県介護福祉士会
- ・一般社団法人 沖縄県リハビリテーション専門職協会
- ・公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

III.回収状況

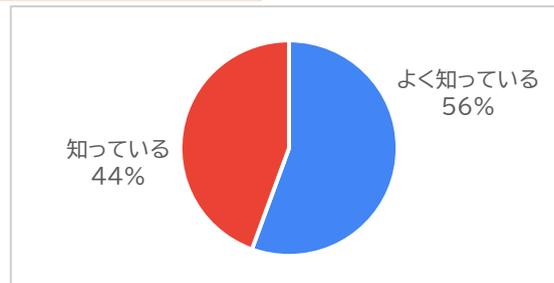
8団体へアンケート回答依頼 うち、9か所回答
(沖縄県看護協会からも回答いただいた)

回答率:100%

IV. アンケート調査結果

●中部地区医師会在宅ゆい丸センターの事業内容をご存じですか。

| | | |
|------------|---|-----|
| よく知っている | 5 | 56% |
| 知っている | 4 | 44% |
| なんとなく知っている | 0 | 0% |
| 知らない | 0 | 0% |



<結果・考察>

- ・アンケートに回答した9か所の専門職団体すべてが、在宅ゆい丸センター事業内容を「良く知っている」「知っている」と回答した。前年度アンケート結果では90%(何となく知っている10%)であったため、1年経過し、認知度が増加している事が分かった。

<今後に向けて>

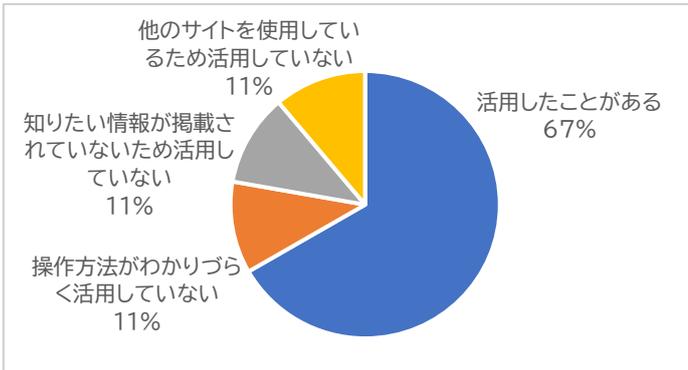
- ・引き続き専門職団体への当センター活動周知を行う。

●地域の医療・介護支援の把握、提供

「医療・介護おたすけマップ」というサイト上で、地域の医療機関や介護事業所の情報提供を行っています。

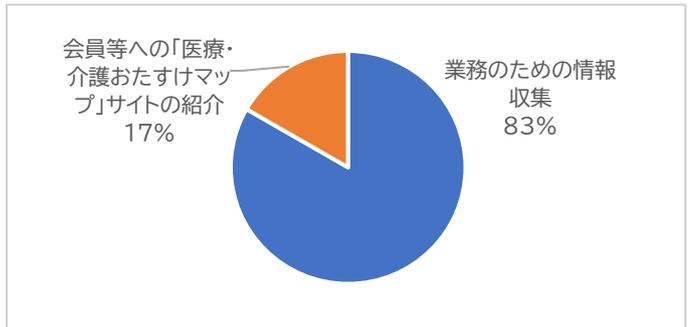
1. これまでに活用したことはありますか。

| | | |
|--------------------------|---|-----|
| 活用したことがある | 6 | 67% |
| 操作方法がわかりづらく活用していない | 1 | 11% |
| 知りたい情報が掲載されていないため活用していない | 1 | 11% |
| 他のサイトを使用しているため活用していない | 1 | 11% |
| 知らなかったため活用したことがない | 0 | 0% |



2. 設問1で「活用したことがある」と答えた方に伺います。どのように活用されたか教えてください。

| | | |
|----------------------------|---|-----|
| 業務のための情報収集 | 5 | 83% |
| 「医療・介護おたすけマップ」サイトの紹介 | 1 | 17% |
| 情報提供(一緒に検索を行った、検索結果を提示した等) | 0 | 0% |



3. 医療・介護おたすけマップの内容で、改善・工夫が必要だと思う点があれば教えてください。

| | |
|-----|--------------------------------|
| 利便性 | 中部地区医師会を表示しないとおたすけマップまでたどり着けない |
|-----|--------------------------------|

<結果・考察>

- アンケートに回答した9名の専門職団体のうち、6名67%の方が医療・介護おたすけマップを「活用した事がある」と回答した。また、そのほとんどが業務上での情報収集のために活用している事が分かった。
- 「操作方法がわかりづらく活用していない」と回答した方からは、マップまでたどり着けないとの意見が挙げられた。

<今後に向けて>

- 適宜、他地区医師会とサイト利便性(アクセスのしやすさ等)向上に向けた検討を行う。
- 医療・介護おたすけマップの周知強化。

●在宅医療・介護連携推進会議の開催

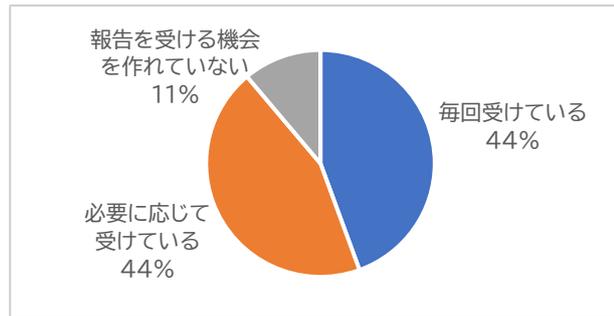
4. 貴会会員が推進委員としてご参加いただいている事は把握されていますか。

| | | |
|-----|---|------|
| はい | 9 | 100% |
| いいえ | 0 | 0% |



5. 推進会議で話し合われた地域課題・対応策について、内容についての報告を受けたことがありますか。

| | | |
|--------------------|---|-----|
| 毎回受けている | 4 | 44% |
| 必要に応じて受けている | 4 | 44% |
| 報告を受ける機会を作れていない | 1 | 11% |
| 報告を受ける必要性を感じたことがない | 0 | 0% |



<結果・考察>

- ・アンケートに回答した9か所の専門職団体すべてが、会員が推進委員としての参加を把握していると回答した。前年度アンケート結果では80%程度であったため、当センター認知度の増加とあわせて推進会議についても認知度や会議目的の理解度が増加していると推測される。
- ・専門職団体の大多数が、会議内容の報告を「毎回受けている」または「必要に応じて受けている」事が分かった。前年度と比較し、毎回・必要に応じて報告を受けている団体は40%(4団体)増加した。

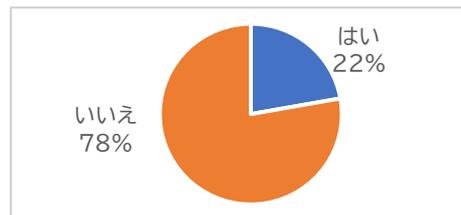
<今後に向けて>

- ・引き続き、会議内容を各団体へ報告していただけるよう、会議目的や推進委員の役割等を適宜伝える。

●相談支援

6. 当窓口へ相談したことはありますか。

| | | |
|-----|---|-----|
| はい | 2 | 22% |
| いいえ | 7 | 78% |



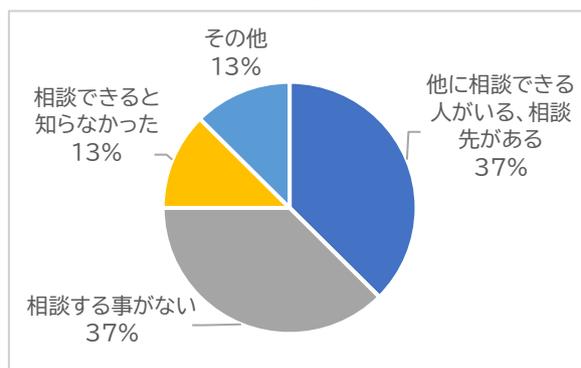
7. 設問6で「はい」と答えた方に伺います。相談した際に有益な情報が得られましたか。

| | | |
|-----------------------------|---|------|
| 解決に結びつくような情報が得られた | 0 | 0% |
| 解決には至らなかったが、良い方向性(考え方)が得られた | 2 | 100% |
| 有益な情報は得られなかった | 0 | 0% |



8. 設問6で「いいえ」と答えた方に伺います。相談したことがない理由について教えてください。

| | | |
|--------------------|---|-----|
| 他に相談できる人がいる、相談先がある | 3 | 38% |
| 相談する時間がない | 0 | 0% |
| 相談する事がない | 3 | 38% |
| 相談できると知らなかった | 1 | 13% |
| その他 | 1 | 13% |



<結果・考察>

・相談した事があると回答した方は 2 名 22%と少なかったが、全員が「解決には至らなかったが、良い方向性(考え方)が得られた」と回答した。相談内容によって解決できない事も多いが、良い方向性(考え方)が得られた事で、住民の切れ目のない医療介護提供体制のため、相談窓口の意義があったと考えられる。

<今後に向けて>

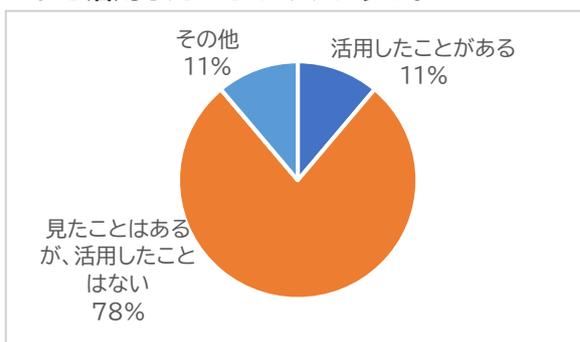
・相談窓口の対応可能な相談内容の例を明示する。(ホームページにてQ&A形式で掲載する等)

●地域住民向け普及啓発活動

9. 当センターで平成 30 年度に制作したエンディングノートを活用したことはありますか。

| | | |
|------------------|---|-----|
| 活用した事がある | 1 | 11% |
| 見た事はあるが、活用した事はない | 7 | 78% |
| 活用方法が分からない | 0 | 0% |
| 見た事がない、知らなかった | 0 | 0% |
| その他 | 1 | 11% |

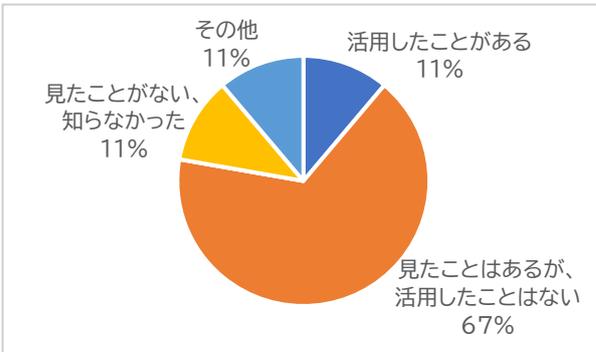
・身近な高齢者へ紹介すると、「自治会などでも紹介されたことがない」と地域包括支援センターから冊子をいただいて活用しています



10. 当センターで令和 2 年度に制作した ACP(人生会議)アニメーション動画や短編漫画を活用したことはありますか。

| | | |
|------------------|---|-----|
| 活用した事がある | 1 | 11% |
| 見た事はあるが、活用した事はない | 6 | 67% |
| 活用方法が分からない | 0 | 0% |
| 見た事がない、知らなかった | 1 | 11% |
| その他 | 1 | 11% |

・看護学生の授業等で活用しています。役所、クリニックに配置して高齢者へ広く周知してはどうか。



11. 貴会、または貴施設にて実施している地域活動がございましたらその内容を教えてください。

| |
|---|
| 県民健康フェアに参加、看護フェアの開催、救急フェア(健康相談)に参加、地域の健康福祉まつりに参加、郵便局等でのまちの保健室開設、看護の出前授業(小・中・高校生)その他地域のイベントに 6 地区において各地区委員が健康相談や介護相談を行っています。 |
| これまで、うるま市健康フェアへ参加しておりましたが、2023 年から調整が難しく不参加となっております。 |
| 活動グループで検討し地域で活動している。 |
| 福祉祭りへの協力 |
| リハビリテーション専門職紹介派遣(一般介護予防事業、リハビリテーション活動支援事業) |
| 市町村の健康福祉祭りへの参加や理学療法フェア等の開催などを行っています。 |
| 毎年 6 月のデンタルフェア |

<結果・考察>

- ・各種ツールの認知度は非常に高く、活用や紹介を行っている団体もあった。
- ・前年度アンケート結果同様、「見た事はあるが活用した事はない」との回答は70%弱あった。

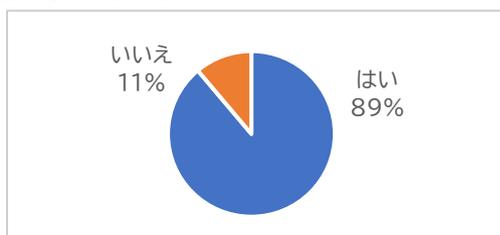
<今後に向けて>

- ・各団体で実施している地域活動の把握、参加とあわせて活用機会の検討を行う。

●医療・介護関係者の情報共有支援

12. 当センターのホームページをご覧になったことはありますか。

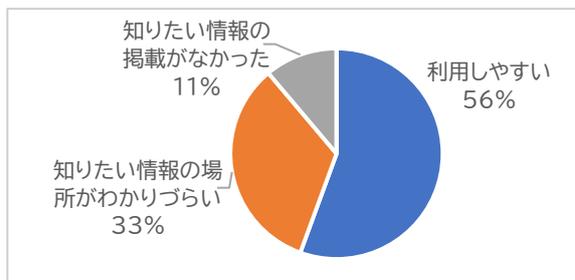
| | | |
|-----|---|-----|
| はい | 8 | 89% |
| いいえ | 1 | 11% |



13. 設問 12で「はい」と答えた方に伺います。

当センターのホームページ使いやすさはいかがですか。

| | | |
|------------------|---|-----|
| 利用しやすい | 5 | 56% |
| 知りたい情報の場所が分かりづらい | 3 | 33% |
| 知りたい情報の掲載がなかった | 1 | 11% |



<結果・考察>

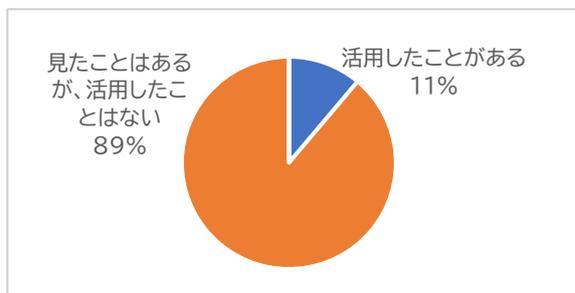
- ・8 か所78%の団体が当センターホームページを見た事があり、うち5か所56%が利用しやすいと回答した。利用した事がある方の過半数は概ね満足している事が分かった。
- ・「知りたい情報の場所が分かりづらい」と回答した団体が3か所 33%いた。

<今後に向けて>

- ・ホームページの利便性、レイアウト、見やすさに関する検討を行う。

14. 当センターでは平成 30 年度に入退院時の連携支援ツールとして入退院支援連携マナーブックを作成しました。活用したことがありますか。

| | | |
|------------------|---|-----|
| 活用した事がある | 1 | 11% |
| 見た事はあるが、活用した事はない | 8 | 89% |
| 活用方法が分からない | 0 | 0% |
| 見た事がない、知らなかった | 0 | 0% |



15. 設問 14で「活用したことがある」と答えた方に伺います。

とくに活用できた部分と改善が必要な部分について教えてください。

| |
|------|
| 回答なし |
|------|

<結果・考察>

・マナーブックはアンケートに回答したすべての団体が知っていたが、うち8か所 89%は「見た事はあるが、活用した事はない」と回答した。前年度アンケート結果では、知らなかったと回答した団体が2か所あった事から、認知度が増加している事が分かった。

<今後に向けて>

・マナーブックの周知強化。

●医療・介護関係者への研修

16. 貴会で、他専門職団体や他施設との意見交換会・研修会など、多職種連携の構築推進へ向けた取り組みを行っていますか。行っている取り組みがございましたら、その内容を教えてください。

| |
|--|
| 本会会員を中心に生涯研修を実施しています。 |
| 沖縄県デザイン事業 |
| ① 保健師・看護師・助産師の職種間連携(看看連携)を推進するための交流会の開催 ② 施設(病院)と在宅(訪問看護ステーション)連携構築のための相互研修の実施 ③ 多職種連携を推進するための研修会の実施 |
| 各市町村ケア会議の延長上で訪問連携講習会等の開催 |
| 県内の活動としては、各地区活動で、 団体としては九州ブロック会議等で情報共有や課題解決についての検討会を行っている。 |
| 理学療法士協会との研修会への運営協力等 |
| 令和6年度県受託事業 リエイブルメントの手法を取り入れた短期集中予防サービスの実践「山口県防府市での取り組み」 |
| 多職種コンソーシアム実践研修会(リハ職・栄養士・薬剤師会・歯科衛生士会等)を毎年開催しています。 |

<結果・考察>

・各団体において、資質向上や多職種連携の強化へ向けた取り組みを積極的に行っている事が分かった。

<今後に向けて>

・専門職団体の取り組みの情報収集、参加を通して当センター活動の周知強化を図る。

●その他ご意見・ご感想

・在宅ゆい丸センターの活動についてご提案等がありましたらご記入ください。(回答一部抜粋)

| |
|--|
| ゆい丸センターの周知 |
| 皆さんの活動で、地域での顔の見える連携が充実しているのだと思っています。(感想まで) |
| 丁寧な活動をしており、できるだけ協力をしていきたいと思っています。 |

<今後に向けて>

- ・各専門職団体との顔つなぎ、連携強化。
- ・専門職団体推薦による当センター活動への委員派遣、協力依頼の継続。